

動物とふれあい安らぎ

青空に犬猫がボランティア訪問

県動物保護協会東部支部は27日、小諏訪の老人ホーム「青空」へ動物ふれあい訪問を行った。

高齢の利用者に動物とのふれあいやボランティアとの会話を通して心の安らぎを感じてもらい、潤いのある生活の一助となるようにと行われている活動。

同時に、社会に貢献する動物の素晴らしさを広めて、動物愛護精神の高揚を図りたいという目的もある。

この日は、シェパードなどの大型犬からシーズーなどの小型犬まで10匹の犬と2匹の猫が飼い主とともに参加した。

開始前には獣医師による健康チェックが行われ、体調が良好であることを確認してから、犬や猫は利用者達の待つ部屋へ。犬や猫の愛らしい姿を見ただけで、誰もが笑顔になり、小さな歓声も上がった。利用者は犬の頭や背中を撫でたり、猫



愛らしい動物とのふれあいで利用者は笑顔になりボランティアとの会話も弾む＝老人ホーム青空で



10余年にわたり活動続ける小川さんとバグの葉月ちゃん

もらい、動物愛護の考えを伝える機会にもなる」と言う。

また、老人福祉施設では「手が動かなかったという人が犬に触るために手を動かすようになったことあるし、歩けなかった人が、犬の近くに寄りたいたからと歩いてくることもあった。

中学生が英語で意見を発表

9月3日、第五地区センターで井田大会。市教委は、自分の考えや思いを英語で伝える「第74回沼津市中学校英語弁論大会」を9月3日午後1時から4時半まで五月町の第五地区センターで開く。

市内の中学19校から選ばれた各校の代表が、1人5分以内で来場者や審査員の前に自作の英文を発表する。

参加者は第一、第二、第三、第四、第五、片浜、金岡、大岡、愛鷹、大平、原、浮島、門池、今沢、市立高等学校、小中一貫(静岡、長井崎、戸田)、暁秀からの19人。上位3人が表彰され、15日に同所で開かれる東部大会に出場する。入場無料。見学生由。

市が健康づくり出張講座。市保健センターは、市内に住む64歳以上の成人10人以上で組織する団体を対象にした健康づくり出張講座「けんこうビュッフェ」を開設している。

申込者が希望する日時(平日と休日、日中と夜間を問わず、概ね30分から120分)に、公民館など申込者が確保する会場に目的に応じた講師を派遣する。

人間の心や社会との関わりを考察

歯科医師の露木良治さんが著作

本田町で歯科医院を開業している露木良治さんが「コミュニケーション」の疑問と対峙し、考え続けてきたこと、自身の人生で経験した失敗や気づきを一冊の本にまとめた。

露木さんは1964年、沼津市生まれ。大学で経営学を学び、金融機関に3年間勤務後、歯科医師になるべく方向転換し、大学院では口腔外科を専攻するなどし



て、現在地に開院した。『コミュニケーション』が苦手だった露木さん。少しだけ遠回りした歯科医師が長年抱えてきた「心とは何か」の疑問と対峙し、考え続けてきたこと、自身の人生で経験した失敗や気づきを一冊の本にまとめた。

「人はなぜ分かって合えないのか」の疑問に答えるべく、人間の内面を「感覚」「情動」「理解」の流れで捉える理論を構築。さらに図式化し摩擦の正体を明らかにしている。

著者の考えは構造という西洋的な視点と循環という東洋的な視点が交わるところから生まれてきた。「人生とは理解者を探す旅である」と括弧(税別)。

刊行にあたって、露木さんは「私の『味わう構造仮説』や『心のダイアモンド』、情報未来へ残すためのデータ符号化技術『PDE』も私一人から生まれたものでなく、生まれ育った沼津の地縁、これまで出会った多くのひとりの縁が自分を育ててくれた」とし、「この研究が小さなきっかけとなり、若い人が沼津に集まり、新しいものが生まれていくまちなになれば」と未来につながることを願っている。

本体価格1600円(税別)。均月間所定外労働時間 1人平均 4カ月ぶりに前年同月を上回った。労働時間 1人平均 均月間所定外労働時間 1人平均